



2023年1月13日

各位

会社名 松竹株式会社
代表者名 代表取締役社長 迫本 淳一
(コード番号 9601 東証プライム、札証、福証)
問合せ先 取締役 尾崎 啓成
(TEL 03-5550-1699)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年10月13日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

通期業績予想の修正について

(1) 2023年2月期通期連結業績予想の修正 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,230	△340	1,800	6,800	495.09
今回修正予想 (B)	79,540	△1,700	350	4,850	353.07
増減額 (B-A)	△5,690	△1,360	△1,450	△1,950	
増減率 (%)	△6.7	—	△80.5	△28.7	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	71,835	△4,005	△2,801	△1,762	△128.33

(2) 2023年2月期通期個別業績予想の修正 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	49,700	2,220	6,910	500.18
今回修正予想 (B)	45,400	1,660	5,750	416.21
増減額 (B-A)	△4,300	△560	△1,160	
増減率 (%)	△8.7	△25.2	△16.8	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	44,698	△1,092	△1,452	△105.14

修正の理由

映像関連事業において、当社の配給作品である「ある男」「耳をすませば」等が当初の見込みに及ばない成績となった事、また映画興行界全体が新型コロナウイルス感染症による影響から徐々に回復しつつあるものの、邦画実写作品が伸び悩み、興行会社である当社連結子会社の株式会社松竹マルチプレックスシアターズにおいて入場者数が想定していた水準に及ばなかった事等の結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表した業績予想を下回る見込みとなりましたので、上記の通り連結及び個別の業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上